

# 第 211 期 株主通信

平成30年4月1日→平成30年9月30日 (中間期)

130<sup>TH</sup>  
ANNIVERSARY

 KURABO

# 株主の皆様へ

---



取締役社長 藤田 晴哉

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第211期第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中間の貿易摩擦激化や相次ぐ自然災害の発生などがあったものの、好調な企業収益を背景に雇用・所得環境は改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような環境下において当社グループは、最終年度を迎えた中期経営計画「Advance'18」の基本方針である「収益拡大に向けた事業変革」のもと、将来市場を見据えたマーケット志向型事業への転換を進め、高付加価値かつ高収益ビジネスの追求、技術革新と新規事業創出などに注力しました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は763億円（前年同期比3.2%減）、営業利益は24億8千万円（同2.2%増）、経常利益は26億1千万円（同3.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億7千万円（同32.6%増）となりました。

なお、当事業年度の間配当につきましては、前事業年度と同様見送らせていただくことといたしました。

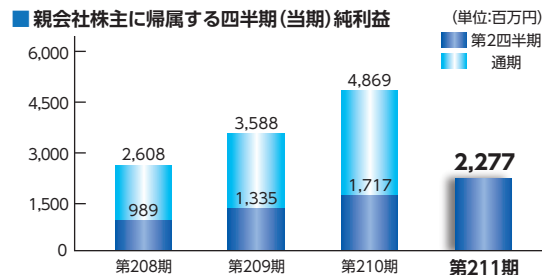
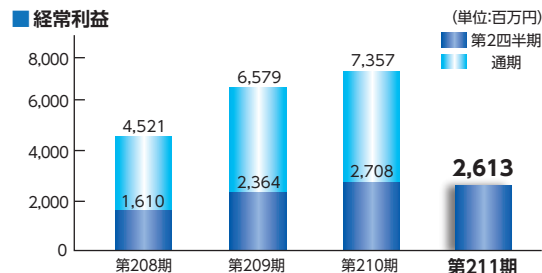
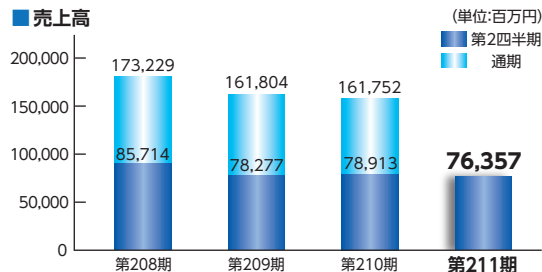
今後のわが国の経済情勢につきましては、雇用・所得の改善や経済対策の効果などにより、景気は今後も回復基調で推移するものと思われませんが、米中間の貿易摩擦激化や相次いだ自然災害による影響については十分留意が必要であります。

このような経営環境のもと、当社グループは、中期経営計画「Advance'18」の基本方針に沿って、高収益事業体制への変革を目指し、既存事業の収益力向上、保有する基盤技術を活用した新規事業の創出、グローバル展開の拡大などに注力いたします。また、引き続きコーポレートガバナンスの強化や法令遵守の徹底など、倫理ある事業活動の推進にも努めてまいります。

なお、当社は、お陰様で平成30年3月9日をもって創立130周年を迎えました。今後とも、株主の皆様をはじめとするステークホルダーの方に支持され、社会に存在価値を認められる企業として、グループとしての企業価値の向上を図ってまいります。

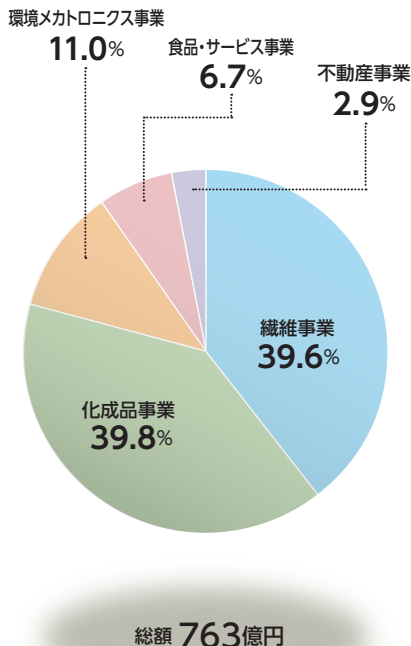
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年11月

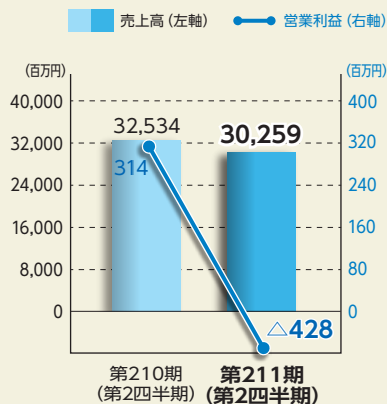


# 当社グループの事業概況

## 事業セグメント別売上高構成比率



## 繊維事業



ユニフォーム分野は、活発な公共投資を背景とした需要の安定により、増収となりました。

カジュアル分野は、国内衣料品販売の低迷により、原糸分野は販売不振により、それぞれ減収となりました。

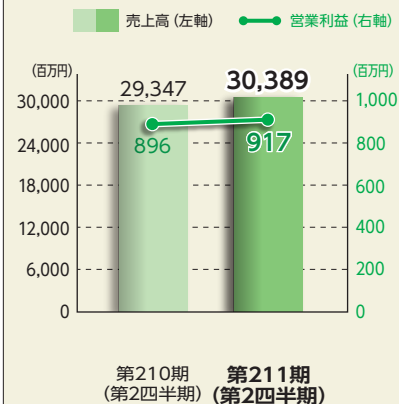
海外子会社におきましては、中国は順調に推移しましたが、東南アジアやブラジルが低調で、減収となりました。

この結果、売上高は302億円(前年同期比7.0%減)、営業損失は4億2千万円(前年同期は営業利益3億1千万円)となりました。

### 繊維事業

- 綿、合繊、その他素材の繊維製品(糸、織物、編物および二次製品)の製造・販売
- 綿、合繊織編物の染色整理加工

## 化成品事業



自動車分野は、内装材向け軟質ウレタンフォームやフィルター向け不織布などが順調で、増収となりました。また、中国の子会社も、新規車種向けの受注獲得などにより増収となりました。

機能樹脂分野は、文具向けおよび自動車向けフィルムなどが順調に推移し、半導体製造向け樹脂加工品も順調で、増収となりました。

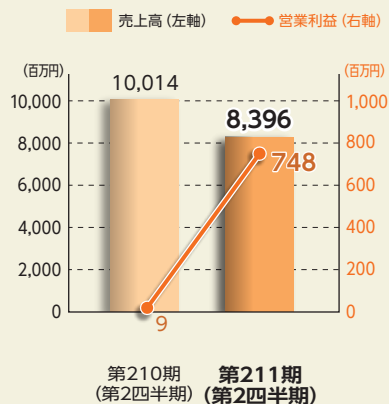
住宅建材分野は、外装用化粧材や繊維補強資材などが低調に推移し、減収となりました。

この結果、売上高は303億円(前年同期比3.6%増)、営業利益は9億1千万円(同2.4%増)となりました。

### 化成品事業

- ポリウレタンフォーム、合成木材、無機建材、機能性フィルム、精密ろ過関連製品、高性能エンブラ製品、不織布および補強ネットの製造・加工・販売

## 環境メカトロニクス事業



エレクトロニクス分野は、基板検査装置や液体成分濃度計などが好調で、増収となりました。また、子会社でも半導体洗浄関連装置が好調で、増収となりました。

エンジニアリング分野は、バイオマス発電プラントの大型案件が減少した影響などにより、大幅な減収となりました。

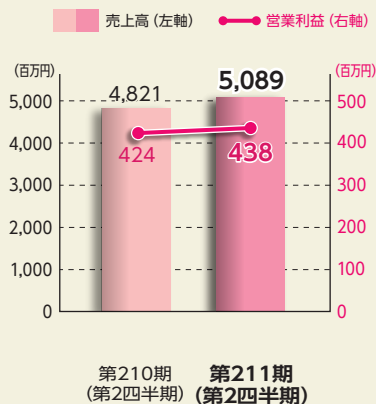
バイオメディカル分野は、核酸自動分離装置が順調に推移し、増収となりました。工作機械分野は、海外は北米向けが回復基調でしたが、国内販売が低調に推移し、減収となりました。

この結果、売上高は83億円(前年同期比16.2%減)、営業利益は7億4千万円(前年同期は営業利益9百万円)となりました。

### 環境メカトロニクス事業

- エレクトロニクス関連製品の製造・販売・保守
- 環境・エネルギー関連の各種プラント等の設計・製作・施工・販売、バイオマス発電事業
- バイオ関連製品の製造・販売
- 工作機械等の製造・販売

## 食品・サービス事業



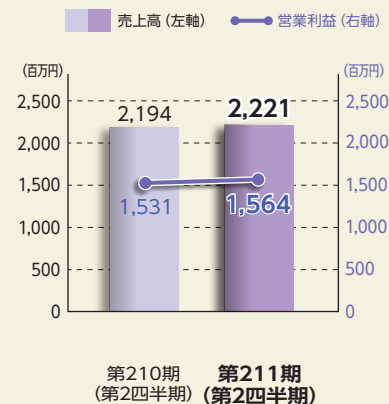
食品分野は、即席めん具材およびスープ市場向け製品が好調に推移し、増収となりました。

ホテル分野は、リニューアル工事に伴う一部施設の休止や平成30年7月豪雨の影響などにより、減収となりました。この結果、売上高は50億円(前年同期比5.6%増)、営業利益は4億3千万円(同3.4%増)となりました。

### 食品・サービス事業

- フリーズドライ食品の製造・販売
- ホテル、自動車教習所等の経営ほか

## 不動産事業



賃貸事業の推進に注力した結果、売上高は22億円(前年同期比1.2%増)、営業利益は15億6千万円(同2.2%増)となりました。

### 不動産事業

- 不動産の賃貸

## ホームページのご案内

>>> <http://www.kurabo.co.jp>

当社ホームページでは、会社案内やニュースリリースのほか、IR情報をお届けするため、「株主・投資家情報」のサイトを開設しています。

当社の開示資料を閲覧できる「IR資料室」、IR活動の日程をまとめた「IRカレンダー」など、株主の皆様のお役に立つ情報を提供しています。



# 連結財務諸表（要旨）

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成30年9月30日)	科目	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	85,005	81,367	流動負債	51,599	50,184
固定資産	98,349	97,303	固定負債	31,314	30,955
有形固定資産	50,869	50,955	負債合計	82,914	81,140
無形固定資産	647	662	<b>純資産の部</b>		
投資その他の資産	46,832	45,685	株主資本	89,241	87,747
資産合計	183,355	178,670	その他の包括利益累計額	7,654	6,403
			非支配株主持分	3,545	3,379
			純資産合計	100,440	97,530
			負債純資産合計	183,355	178,670

(注) 「「税効果会計に係る会計基準」の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、平成30年3月期の連結貸借対照表については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載しております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 (平成29年4月1日～ 平成29年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (平成30年4月1日～ 平成30年9月30日)
売上高	78,913	76,357
売上原価	65,964	63,313
売上総利益	12,949	13,044
販売費及び一般管理費	10,512	10,554
営業利益	2,436	2,489
営業外収益	683	774
営業外費用	412	649
経常利益	2,708	2,613
特別利益	216	649
特別損失	213	20
税金等調整前四半期純利益	2,710	3,243
法人税等	904	953
四半期純利益	1,806	2,289
非支配株主に帰属する四半期純利益	88	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,717	2,277

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 (平成29年4月1日～ 平成29年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (平成30年4月1日～ 平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,377	5,254
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,623	△1,199
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,137	△5,140
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34	△157
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,581	△1,241
現金及び現金同等物の期首残高	16,486	20,423
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	104
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,068	19,286

# 当社の株式に関する事項 (平成30年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 977,011千株
- 発行済株式の総数 231,562千株
- 株主数 15,411名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三井住友銀行	10,580	4.92
株式会社みずほ銀行	10,580	4.92
日本生命保険相互会社	9,200	4.27
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,616	3.54
株式会社中国銀行	7,265	3.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,024	3.26
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	6,158	2.86
GOVERNMENT OF NORWAY	4,615	2.14
三井住友信託銀行株式会社	4,120	1.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	4,117	1.91

- (注) ①当社は、自己株式16,596千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 ②持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
 ③当社は、平成30年10月1日付で10株につき1株の割合で株式併合を実施しており、上記は株式併合前の株式数で記載しております。

# 当社グループの概要 (平成30年9月30日現在)

## 当社

- 創立 明治21年3月9日
- 本店 岡山県倉敷市本町7番1号
- 主要な事業所

区分	名称	所在地	
営業所 および 研究所	大阪本社	大阪市中央区	
	東京支社	東京都中央区	
	技術研究所	大阪府寝屋川市	
工場	繊維	丸亀工場	香川県丸亀市
		安城工場	愛知県安城市
		徳島工場	徳島県阿南市
	化成系	寝屋川工場	大阪府寝屋川市
		裾野工場	静岡県裾野市
		群馬工場	群馬県伊勢崎市
		鴨方工場	岡山県浅口市
三重工場	三重県津市		
熊本事業所	熊本県菊池市		

(注) 平成30年4月1日をもって熊本事業所(旧称「熊本開発センター」)を主要な事業所としました。

## 当社グループの従業員の状況

従業員数(前連結会計年度末比増減)(人) 4,544(△47)

(注) 従業員数は就業人員であり、上記のほか、臨時社員・パートタイマー993人がおります。

## 当社の重要な子会社の状況

区分	会社名
国内	倉敷機械(株)
	日本ジフィー食品(株)
	(株)クラボウインターナショナル
	倉敷繊維加工(株)
	東名化成(株)
	シーダム(株)
海外	(株)倉敷アイビースクエア
	クラシキ・ド・ブラジル・テキスタイル(有)
	タイ・クラボウ(株)
	(株)クラボウ・マヌンガル・テキスタイル
	広州倉敷化工製品有限公司
広州倉福塑料有限公司	

(注) 上記記載の重要な子会社12社を含め、当第2四半期の連結子会社は25社、持分法適用会社は2社であります。

## 当社の取締役 (平成30年9月30日現在)

代表取締役 取締役社長	藤田 晴哉	取締役 執行役員	川野 憲志
代表取締役 常務執行役員	北 畠 篤	取締役 常勤監査等委員	岡田 治
代表取締役 常務執行役員	馬場 紀生	社外取締役 監査等委員	茂木 鉄平
取締役 執行役員	本田 勝英	社外取締役 監査等委員	新川 大祐
取締役 執行役員	稲岡 進	社外取締役 監査等委員	西村 元秀
取締役 執行役員	藤井 裕詞		

(注) 社外取締役(監査等委員)茂木鉄平、新川大祐および西村元秀の3氏は、いずれも当社が定める「社外取締役の独立性に関する基準」の要件を満たしており、また東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2に定める独立役員であります。

## 当社の執行役員 (平成30年9月30日現在)

専務執行役員	佐野 高司	執行役員	相徳 朗人
常務執行役員	藤原 秀則	執行役員	平田 政弘
常務執行役員	八木 克真	執行役員	中川 眞豪
常務執行役員	西澤 厚彦	執行役員	松井 一雄
執行役員	中村 潔	執行役員	西垣 伸二



## 繊維事業部

### ● 炎天下での作業リスク管理を支援する ● “Smartfit for work”のサービス提供開始

繊維事業部は、独自開発したシャツ型スマート衣料“Smartfit（スマートフィット）”で取得した生体情報（心拍・温度など）を基に暑熱環境下における作業者のリスク管理を支援するシステム“Smartfit for work”を開発し、本年6月からサービスの提供を開始しました。

“Smartfit for work”は、建設業、運輸業、製造業などの企業向けに提供するサービスです。“Smartfit”で得られた生体情報と実際の作業地域の気象情報により解析した結果から、炎天下での暑熱作業リスクや作業者の日々の体調変化を推測し、管理者と作業者に通知します。これにより、管理者は遠隔地からでも“Smartfit”を着用した全作業者の暑熱作業リスクの解析結果をパソコンやスマートフォンなどでリアルタイムに簡単に見ることが可能

になり、より早い段階で熱中症などの暑熱作業リスクへの適切な対策を講じることが出来ます。

なお、この解析に使用されているアルゴリズムは、延べ約7,000人のモニタリングデータを基に、クラブウと国立大学法人大阪大学、一般財団法人日本気象協会が共同開発したものです。



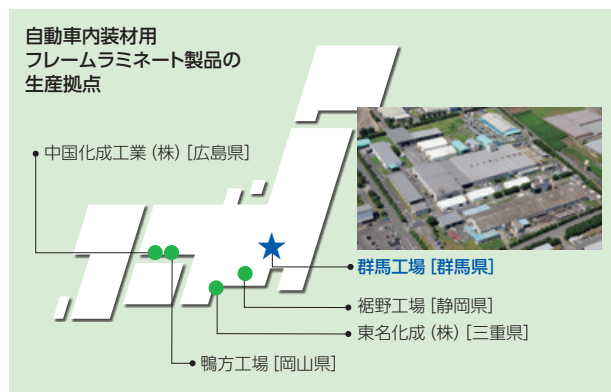
## 化成品事業部

### ● 自動車内装材用フレームラミネート製品の ● 生産拠点の拡充

化成品事業部は、群馬工場（群馬県伊勢崎市）内に自動車天井用フレームラミネート製品の生産設備を新設しました。自動車天井用フレームラミネート製品の製造には、厚さ数mmのウレタンフォームに、生地をシワができないように貼り合わせる高度な加工技術が求められますが、当社が有する優れた技術力が評価され、拡販が順調に進んでいることから、群馬工場に生産設備を新設し、本年10月から本格生産を開始しました。

従来中国、東海に加えて北関東地方にも生産拠点ができたことで、生産能力の面だけでなく国内物流の面でも

対応力が強化され、関東を拠点とする自動車メーカーに向けて今後の販売拡大が期待できます。





## ● 高速、高精度の基板検査装置 ● “BBMaster-7000”を販売開始

環境メカトロニクス事業部では、基板の検査精度と処理スピードを向上させた基板検査装置“BBMaster-7000”の販売を本年3月に開始しました。

自動車業界では、電気自動車や自動運転技術、安全運転支援装備などの普及に伴い自動車に搭載される電子基板の数が大幅に増加しており、また、そのコンパクト化や高性能化が進んでいます。これらの車載用基板の検査は、自動車の安全性に直結するため、これまで以上に微細な欠陥を正確に検査できる精度と、効率性の観点からより多くの枚数を検査できる処理スピードとの両立が求められています。今回、販売を開始した“BBMaster-7000”は、長年にわたり蓄積した独自技術で開発した高解像度のカメラに加え、複数方向から同時撮影できるスイッチング技術とそれに連動した

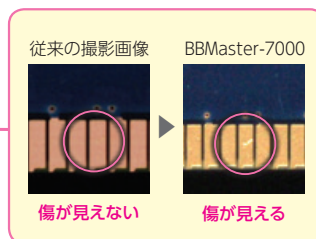
独自の照明技術によって、従来の検査装置では検出できなかった基板上の微細な傷や凹み、異物といった各種欠陥を従来の装置に比べ2倍以上のスピードで高速検査することが可能となっています。

基板検査装置の開発、販売により、次世代自動車の開発において注目されているCASE\*の実現に貢献してまいります。

\*CASE: コネクテッド(つながる)、オートノマス(自動運転)、シェアリング(共同所有)、エレクトリシティー(電動化)の英語の頭文字からなる造語。



BBMaster-7000

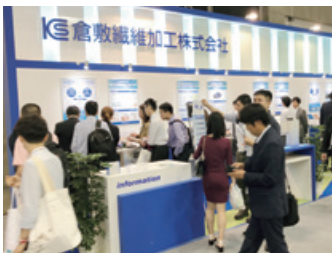


関係会社:倉敷繊維加工(株)

## ● アジア不織布産業総合展示会・会議 ● 「ANEX2018」へ出展

倉敷繊維加工(株)は、本年6月6日～8日に東京ビッグサイトで開催されたアジア不織布産業総合展示会・会議「ANEX2018」に出展しました。

「ANEX」は、欧州不織布工業会が主催するINDEX、米国不織布工業会が主催するIDEAと並ぶ世界3大不織布展の一つで、今回の出展社数は747社、来場者数は3万人超で、倉敷繊維加工(株)のブースへも多くのお客様にお越



しいたきました。

今回は、「高機能化への挑戦」をテーマに、自動車、家電、ヘルスケア、化粧品、半導体などの各種業界向けに脱臭や抗菌、吸音、抗アレルギー、微量金属イオン除去など様々な機能をもつ不織布やその応用製品を紹介・展示しました。

倉敷繊維加工(株)の美容用途の伸縮不織布“Silky Veil(シルキーベール)”とクラボウ化成品事業部の伸縮フィルムを貼り合わせたフェイスマスク基材は、「化粧液の蒸発抑制」と「リフトアップ」の2つの効果が期待できることから、日本、中国、韓国などの来場者の注目を集めました。

今後も、このような展示会などの機会を捉えて、高機能不織布をアピールするとともに、海外を含め各分野への販売拡大に注力してまいります。

関係会社: (株) 倉敷アイビースクエア

## ● (株) 倉敷アイビースクエアの新大型宴会場 ● “アイビーエメラルドホール” がオープン

(株) 倉敷アイビースクエアでは、昨年9月から建設工事を進めていた新大型宴会場“アイビーエメラルドホール”が完成し、本年10月にオープンしました。

インバウンドなどの需要の盛り上がりとともに、各地で国際



アイビーエメラルドホール

会議などの大規模会議の誘致が盛んになっているなか、倉敷市では一昨年5月にG7伊勢志摩サミット関連のG7倉敷教育大臣会合が開催され、その会場に倉敷アイビースクエアが選ばれました。この経験を生かし、国際会議や大型イベントにも対応できる新たな施設を開設することが、(株) 倉敷アイビースクエアの企業価値の向上をはかり、さらには地元倉敷の発展にも貢献できるものと考え、クラブウ創立130周年記念事業の一環として“アイビーエメラルドホール”を建設いたしました。

“アイビーエメラルドホール”は、1,000人規模の立食パーティーを行うことができる倉敷市内では最大級の施設で、国際会議やビジネスイベントなどのコンベンションホールとしても活用いただけます。また、ホールは3分割して使用できるため、様々なニーズに合わせてのご利用も可能です。

## C S R の 取 り 組 み

### 環境教育の支援

徳島工場は、本年6月、徳島県が主催する「NAKAなかキッズ交流事業」に協力しました。

この事業は、那賀川のダム上流域の子供たちが水の利用について学ぶことを目的とする取り組みで、徳島工場では、徳島県那賀町立木頭小学校の生徒の皆さんに、染色工程で水が使われている様子や、排水処理設備で水が綺麗になる様子を見学してもらいました。



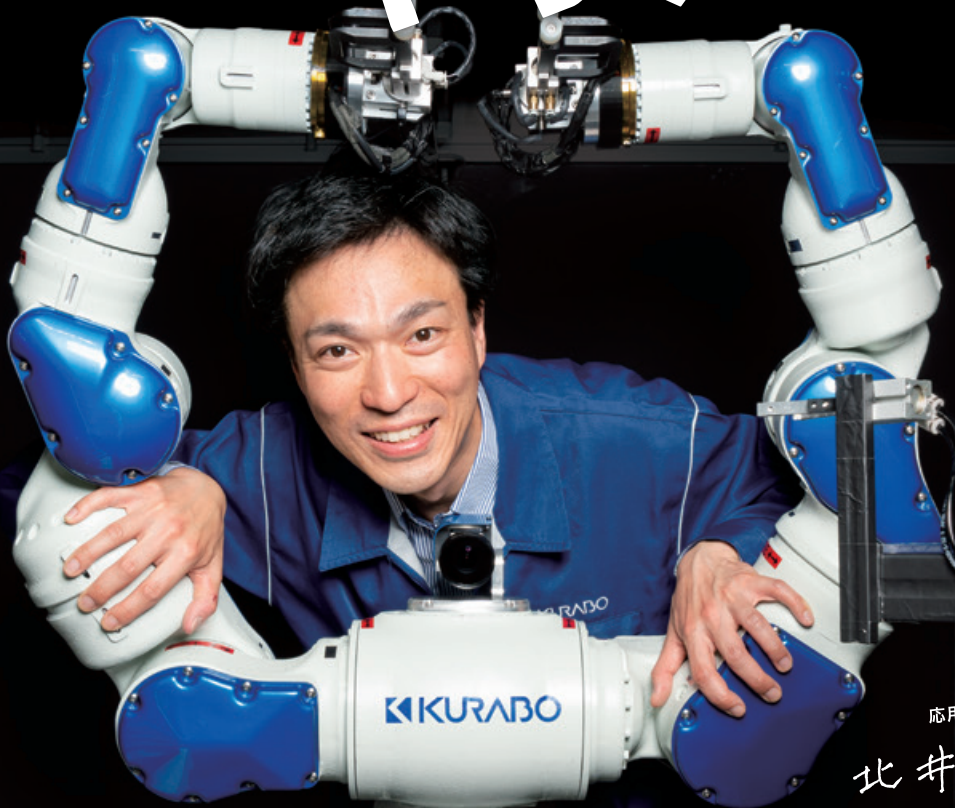
水の浄化方法の説明シーン

### 「平成30年7月豪雨」 被災地支援

クラブウグループは、「平成30年7月豪雨」の被災地への支援として、倉敷市に義援金1,250万円と物資(マスク1万枚)を寄付し、避難所での炊き出しも行いました。被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

クラブウの環境に対する取り組みについて、詳しくはホームページ <http://www.kurabo.co.jp/report/index.html> をご覧ください。

# 面白いことやってやろう。



技術研究所  
応用開発グループ

北井 基善

Episode 1 | 「ロボットに夢中なクラボウ人」篇

内容に関しては  
下記WEBサイトをご覧ください。

**KURABO** <http://www.kurabo.co.jp>

クラボウグループは創立130周年を迎えました

詳しい  
エピソードを  
特設WEBサイト  
で公開中!





倉敷紡績株式会社

<http://www.kurabo.co.jp>

---

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 単元株式数 100株
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 基準日
- 同連絡先
- (1) 定時株主総会・期末配当金 毎年3月31日 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
- (2) 中間配当金 毎年9月30日 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
- 公告の方法
- 電子公告の方法により行います。
- 公告掲載URL <http://www.kurabo.co.jp>
- ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

---

### 【ご注意】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。

### 【株式併合と単元株式数変更に関するお知らせ】

- 当社は、平成30年10月1日付で10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。また、単元株式数についても同日付で1,000株から100株に変更しております。